

ちくりん舎の測定結果（抜粋）

土壌

検体名称	採集日時	採集場所	Cs-134(Bq/Kg)			Cs-137(Bq/Kg)		
			測定値	誤差範囲	検出限界	測定値	誤差範囲	検出限界
土(河川敷)	2014/12/12	東京都武蔵村山市	340	68	—	930	190	—
土	2014/12/13	東京都青梅市	190	47	—	630	160	—
土(庭)	2014/12/5	東京都あきる野市	28	7.1	—	100	26	—
土(公園)	2015/1/19	東京都立川市	76	15	—	270	52	—
土	2015/1/3	山梨県富士河口湖町	2.8	0.36	—	11	1.4	—

食品

検体名称	採集日時	採集場所	Cs-134(Bq/Kg)			Cs-137(Bq/Kg)		
			測定値	誤差範囲	検出限界	測定値	誤差範囲	検出限界
フキノトウ	2015/3/18	福島県南相馬市	20	4.3	—	80	17	—
フキノトウ	2015/3/16	東京都日の出町	不検出	—	1.4	不検出	—	2.0
ヨモギ(乾燥)	2015/1/1	新潟県	不検出	—	0.45	0.82	0.36	—
ヨモギ(乾燥)	2015/1/26	宮城県+熊本県	不検出	—	0.62	2.2	0.75	—
ニラ	2015/1/18	栃木県	不検出	—	5.0	11	4.0	—
シイタケ	2015/3/15	東京都日の出町	2.3	0.64	—	9.1	2.0	—
シイタケ	2015/3/28	東京都青梅市	14	3.1	—	56	11	—
カボス	2015/12/5	東京都あきる野市	不検出	—	0.73	0.75	0.44	—
せんべい	2015/1/19	埼玉県（加工場所）	不検出	—	5.1	5.6	3.0	—
粉ミルク	2015/2/3	ヨーロッパ	不検出	—	0.15	0.28	0.12	—
ワカメ（塩蔵）	2015/2/13	宮城県石巻市	不検出	—	2.4	不検出	—	2.6

その他

検体名称	採集日時	採集場所	Cs-134(Bq/Kg)			Cs-137(Bq/Kg)		
			測定値	誤差範囲	検出限界	測定値	誤差範囲	検出限界
尿 7歳 女	2014/12/19	福島県伊達市	不検出*	—	0.13	0.24	0.10	—
尿 5歳 女	2014/12/19	福島県伊達市	不検出*	—	0.11	0.31	0.11	—
尿 1歳 男	2014/12/19	福島県伊達市	不検出	—	0.25	0.48	0.20	—
尿 10歳 男	2015/1/9	福島県伊達市	不検出*	—	0.11	0.32	0.11	—
尿 74歳 男	2015/3/18	福島県南相馬市	不検出	—	0.11	0.46	0.13	—
尿 65歳 男	2015/3/18	福島県南相馬市	0.10	0.045	—	0.41	0.12	—
落ち葉	2014/12/4	東京都小平市	6.2	2.1	—	19	5.9	—
灰(ストーブ)	2014/12/14	東京都桧原村	92	24	—	310	79	—
灰(ストーブ)	2015/3/19	東京都あきる野市	100	18	—	380	67	—
カー・エアコン・フィルター	2012/10/7	東京都東大和市	1800	340	—	3000	540	—
ハウスダスト	2015/1/17	東京都東大和市	12	5.2	—	59	15	—

*検出限界以下のため定量化できないがピーク有と判定

ちくりん舎よもやま話

◆子どもの付き添いで参加していた自然観察会の師匠に声をかけてもらい、ちくりん舎にやって来て半年。原発事故前後で草花や生き物の営み、日々の生活は何ら変わらないけれど、測定のお手伝いをして、目で見ることのできない放射性物質汚染を身近に感じてます。子ども達に安心して当たり前子育てできる日常をリレーしなくては！！……と反抗期の息子とバトルしながら思う今日この頃です。(T・C)

◆日没の早い晩秋のある日、ちくりん舎での仕事を終えて帰ろうとしたら、靴が片方なくなっているではありませんか！犬は飼っていないし、いたずらしそうな子どももいないし……？？？ どうもキツネ、もしくはタヌキの仕業だったよ

うです。特にキツネは、人間の靴を片方だけ山へ運ぶ習性があるそうです。

キツネにはまだ出会ったことがありませんが、ちくりん舎に通うようになって1年3か月の間に、タヌキには4回出会いました。先日は、まだ明るい夕方に、タヌキがちくりん舎の家主さんが飼っている山羊のメイちゃんとにらめっこをしているユーモラスな姿を見かけました。

こうした野生動物に出会うといつも思うことは、彼らこそがこの先住民だということ。靴の一足や二足を取られたからといって、何も文句は言えません……。でも、ちくりん舎を訪問される方は、脱いだ靴を必ず下駄箱に入れてくださいね。(T・Y)

「学校でこそ！」子どもたちを守る環境づくりを

明星子どもの環境を考える会 吉村秀一



「明星子どもの環境を考える会」は、三鷹市にある明星学園（小中高）で、東電福島第一原発事故後に、保護者によって作られた会です。事故後の放射線の汚染や子どもたちの健康への影響を心配し、対応したいと集った人たちによって運営されてきました。

主な活動として、学校内の空間線量や土壌の測定、定期的な勉強会の開催などを続けています。勉強会や測定会は、保護者に加え先生方も参加し、保護者と学校がともに子どもたちの環境について考える会となっています。2011年に測定を始め、排水溝などの汚染度の高い箇所では、汚染土の除去が行われました。最終的には、“よりよい環境を”と、子どもたちの遊び学ぶ小中学校の庭やグラウンドのすべての土を入れ替えることができました。勉強会は、放射線の基礎知識や、健康影響、食品の汚染状況など、様々なテーマを選び、講師をお招きして行っています。ちくりん舎の青木さんには、二度にわたりお出でいただき、貴重なお話を伺うことができました。また、会のメンバーの家族らの尿検査もお願いして、データの詳細な見方についてもレクチャー頂きました。本当にありがとうございます！

「学校でこうした会を持てるなんて」と驚かれることがあります。それには、明星学園が、伝統的に「思うことは言っている」という空気に満たされた場所であったことも大きいと思います。

事故直後から、本来なら真っ先に反応してもよいは

ずと思えた多くの学校、PTA、地域の行政、医療の場が、沈黙していく様は信じ難いものでした。

原発事故による汚染の問題が、メディアの世界以上に、私たちを囲むコミュニティにおいて、タブー視され、沈黙していく光景に、気持ち悪さを感じました。

そんな中で「学校でこそ！」という想いも、この会を開く際にあったのです。私たちの活動は、おそらく、先述した明星学園の空気に支えられたものであるかもしれません。しかし、私の知人には、そうした空気の薄いところで、学校やPTA、行政に声を発している人たちも多くいます（東京にも、福島にも）。そうした人たちの行動には本当に頭が下がります。

様々なコミュニティにおいて、子どもたちの健康や環境のことくらい（そんな大切なことくらい！）は、自由に語り合えることが“あたりまえ”のこととなるよう、今、一人一人が、あるいは仲間同士が、沈黙することなく、声を発し続けることが大切だなあ、と感じています。

「学校でこそ！」が「特別」なことではなく、「スタンダード」である社会を望みます。

私たちの勉強会は、明星学園の保護者に限らず、想いを同じにする人たちにもご参加いただいています。shushushu1111@gmail.com までご連絡いただければメーリングリストに登録の上、お知らせを送らせていただきます。

ちくりん舎 会員募集中

ちくりん舎では会員・賛助会員を募集しています。メールまたは電話、FAXでお問合わせ下さい。

●正会員

団体会員 / 年会費 1 口 10,000 円（何口でも）

個人会員 / 年会費 3,000 円

ちくりん舎の運営に関わり、ちくりん舎を支えていただく団体、個人です。

●賛助会員

年会費 1 口 1,000 円（何口でも）

ちくりん舎の趣旨に賛同して支えていただく方々です。ちくりん舎のニューズレター、イベント案内等の情報が受け取れます。

★カンパも随時受け付けています。

<市民放射能監視センター口座>

●ゆうちょ銀行

振込口座：00150-5-418213

加入者名：市民放射能監視センター

シミンハウシャノウカンシセンター

●他行からの振込の場合

店名 〇一九（ゼロイチキュウ店）

預金種目：当座

口座番号：0418213

Web サイトにてお待ちしております。

<http://chikurin.org/>

